

# JCAA

JAPAN CLINICAL ART ASSOCIATION

# 臨床美術 News

Vol. **60**

2021 SPRING

## 理事長メッセージ ～新年度に向けて～

臨床美術学会 2020年度オンラインシンポジウム報告

**コロナ禍における臨床美術の可能性を探る**

～今、必要とされる創造性とコミュニケーション～

専門家インタビュー

**想いを重ねる、つなぐアートのカ**

～オンラインという命綱～



臨床美術士を訪ねて

アートプログラム：「魚の金彩屏風」

## TOPICS

新発売!! 「ひらめきアート ぬり絵マルシェ」

臨床美術士ステーションのご案内

アートプログラム紹介

協会からのお知らせ

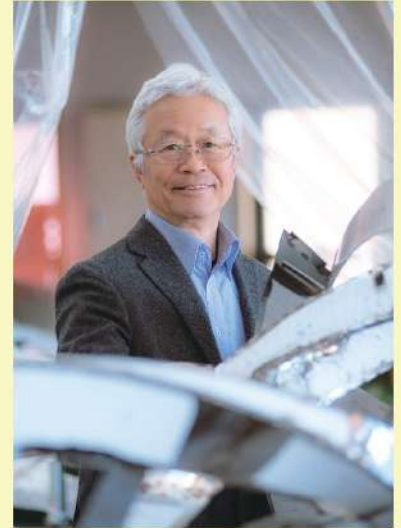


特定非営利活動法人  
**日本臨床美術協会**

## 理事長メッセージ ～新年度に向けて～

### 「春を待つ」

2021年も立春が過ぎ、春が待ち遠しい時期になってきました。嬉しいことに庭の福寿草も一輪咲きました。私は昨年4月の個展予定がコロナ対策で一時延期となりましたが、幸いなことに2か月遅れで開催できました。それ以来ほとんどアトリエに籠っています。その為か展覧会での出来事ははるか昔のように感じられます。街に出歩くこともなく、友人と会うこともなく、Amazonやモノタロウで必要な資材や道具をネットで注文し宅急便で受け取る生活です。制作が進むという点では良いのですがやはり味気ない日々です。冬とコロナに閉じ込められていた今年2月初旬、急に海が見たくなり伊豆半島まで出かけました。私の住む長野県佐久市は日本で海から一番遠い地点のある場所のようで、出かける早朝は多くの雪が残り気温はマイナス4度でしたが、250キロメートルのドライブで着いた伊豆半島土肥温泉は土肥桜が満開でした。寒さとコロナで強張っていた体と気持ちが西伊豆の穏やかな海を見てほぐれてゆき、すぐにでも泳げそうでした。道中の雪のハケ岳の鋭い稜線や南アルプスの重厚な雄姿、そして何よりも富士山の神々しい雄大さはやはり印象的でした。葛飾北斎の富岳三十六景に描かれた海から見る富士山の聳え立つ姿はまさに写真だと納得して帰って来ました。



ところで昨夜2月13日、宮城県や福島県で震度6強の地震がありました。被害が心配です。10年前の3.11東日本大震災の恐怖がよみがえりました。そして昨年から続いているコロナ禍は未だ収束の兆しが見えず依然として不透明な先行きです。諸外国では封じ込めに成功した国もいくつかありますが、大半の国では厳しい状況でロックダウンの都市も多くあります。臨床美術士の方々もコロナへの対応で、大変な思いで日々を過ごされているのではないかと心配しています。初めての試みでもあるリモートやZoomなどでの活動や、対面では三密を避け換気や消毒に気を使っただけのセッションなど本当に気苦労の多いことでしょう。けれどもこの時期だからこそ多くの方がその活動を待ち望んでいることは疑いもありません。精力的に日々活動している皆さんの活躍には頭が下がります。

日本でもワクチンの接種が始まるという希望の持てるニュースも出てきています。落ちついた生活は必ず戻ってきます。その希望を持って、皆さんが健康でそして充実した毎日を過ごされることを願っています。

2021年2月14日  
日本臨床美術協会 理事長 木戸 修



# 臨床美術学会 2020年度オンラインシンポジウム報告

テーマ： **コロナ禍における臨床美術の可能性を探る**  
～今、必要とされる創造性とコミュニケーション～

毎年秋に開催されている臨床美術学会大会が、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。そこで急遽、11月15日(日)にオンラインでのシンポジウムが企画、開催され、約120名の臨床美術士が参加しました。

## オンラインシンポジウム

2020年2月以降、さまざまな現場が活動できない状況となり、多くの臨床美術士が不安や閉塞感の中、何かアートでできないか、どうしたらいいのか…など、迷い、試行錯誤しながら、それぞれに数か月間を過ごしてきました。シンポジウムでは、8月初旬に日本臨床美術協会の資格認定会員に行ったWebアンケートの回答も踏まえ、3名のシンポジストを迎えて講演が行われました。



写真上段左から

**学会長：木戸 修** (日本臨床美術協会 理事長)

**座長：保坂 遊** (東京家政大学 教授)

**アンケート報告：青木 理栄** (日本臨床美術協会 事務局)

写真下段左から

**シンポジスト：**

**フルイ ミエコ**

(京都〈臨床美術〉をすすめるネットワーク代表)

**辻 美帆** (医療法人社団翔洋会 理事)

**水野 雅之** (東京家政大学 講師/臨床心理士)

登録団体「京都〈臨床美術〉をすすめるネットワーク」の代表を務めるフルイミエコさんは、「オンラインによるアートセッションの可能性」をテーマに発表しました。コロナの感染拡大によって休止を余儀なくされた現場の参加者に対し、短時間でも作品制作やコミュニケーションをとることができないかと、初めてのオンラインセッションにチャレンジした体験を紹介しました。

臨床美術士でもあり、練馬区で医療・介護施設を運営する辻美帆さんは、「アンダーコロナにおける対面セッション」について発表。昨年5月の緊急事態宣言解除後、比較的早い時期から施設での臨床美術のセッションを再開し、その際の準備や注意点、苦労などを画像を交えて紹介。課題の提言もあ

りました。

臨床心理士として活躍している東京家政大学の水野雅之先生からは、「コロナ禍における心理的影響とメンタルヘルスケア」について。このような閉塞的な状況の中、ネガティブな思考や何かと否定的になりがちだが、支援している側の自分たちも含めて皆が苦しみや揺らぎを感じている。それらを無視したり否定することなく、自身に優しい思いやりを向けていくこと“セルフコンパッション”がとても大事である、という話が印象的でした。

3名の発表にはそれぞれ心に響く言葉や映像があり、今後の活動に向け、多くの臨床美術士の参考や刺激になりました。

### ▶ オンライン交流会

シンポジウム後には、自由参加でオンライン交流会も行なわれました。全国から50名近い方の参加があり、小グループに分かれてそれぞれの地域の状況や個々の活動、またシンポジウムでの内容を受けて意見交換が活発に行われました。

### \* オンラインシンポジウムを終えて

コロナの収束が見えにくい状況が続いていますが、遠距離に住む人や外出が困難な方ともつながることができるオンラインならではのメリットも感じた機会となり、今後の臨床美術のあらたな可能性を探るきっかけにもなりました。

2021年度も11月14日(日)にオンラインでの臨床美術学会大会を開催予定です。

※今回のオンラインシンポジウムでのフルイミエコさん、辻美帆さんの発表内容はP4でもご紹介しています。



# 想いを重ねる、つなぐアートのか ～オンラインという命綱～

長年、臨床美術士として  
子どもの現場に立ち、  
現在は東京家政大学で臨床美術を授業に  
導入されている保坂氏。  
臨床美術を通じて学生と  
接する中で感じる「アートのか」、  
そして「オンラインの可能性」について伺いました。



臨床美術士／東京家政大学 子ども学部教授  
**保坂 遊 氏**

昨年、COVID-19の蔓延によって、突如、大学の授業も全面オンラインで開講せざるを得なくなりました。造形関係の授業でいえば、教員も学生も、外出自粛の中、パソコンの画面と向き合い、身の周りにある画材教材その他をなんでもひっくり返し、それぞれが制作可能な環境の中で、孤独に創作活動に取り組む状況となってしまいました。自宅で制作してもらおう事の限界を感じつつも、創意工夫に奮闘する姿も見られました。

中でも大きな収穫は、学生が提出するポートフォリオ(創作過程を記録し考察をまとめさせているもの)に毎週向き合い、コメントを付すやり取りの中で、それぞれが深い想いを持って表現に向き合っている事を知ることが出来た点です。臨床美術の対面セッションでは、作品から感じ取れることを臨床美術士が“I (アイ) メッセージ”として伝え、作者や参加者のコメントも共有しながらコミュニケーションを図っていきます。「作品を共に感じ、認め合う場と時間」が大切であり、「何を描いたのですか?」「どんな意味があるのですか?」など、いわゆる教育的な手法や芸術療法で見られる作者の制作意図を引き出すことや、言葉にできない想いを、無理に聴き出すことはありません。しかし、オンライン上では、作者それぞれが費やした制作時間や過程で感じた想いがポートフォリオに様々に綴られており、彼らの溢れる想いを受け止め応答することが、理解を深め関係性を築く重要なプロセスとなったと実感しています。

作品の何気ない色合い、形、構成といった作品の表象の、その奥にある一人一人が生きてきた時間や経験、想いが詰まっていることを彼らは伝えてくれました。ある学生は、毛

チーフのりんごの小傷にさえ自分のこれまでの辛い経験と重ね合わせ慈しんで描いたり、悩みや苦しみから解き放たれた希望や憧れを一本の線に託し、様々な想いを表現に投影している事を教えてくれました。

美術家ではない限り、美術創作は一般的には非日常的活動と捉えられるかと思います。しかし、たった一枚の創作体験が彼らの日常を支え、ときには人生を救う強固な柱(拠り所)にも成りうる。決してこれは大げさなことではないと思います。

コロナ禍、私達はこれまで当たり前のように思っていた「自由に表現する場」を制限されています。社会的あるいは個人的活動の場、またコミュニケーションの場を著しく失い、本来表出されていくべきものが、各々の内面で滞り、ひよっとすると失いかけているのかもしれない。そのような中、オンラインの活用がひとつの命綱にさえなるのではないのでしょうか。

オンラインシステムは、あくまでもツールです。しかしその大きな利点は場所や時間の制約を拡張し、人と人との想いを繋いでくれることにあるでしょう。勿論、対面でのアートセッションに勝るものはないとは思いますが、オンラインならではの違った視点や新たな可能性を与えてくれます。PCの画面上では伝えきれないこともあります。それぞれの個性や想いが放つ表現の輝きやアートの本質は色褪せることはありません。まだまだ暫し続くと思われるこの状況ですが、「自己を表現する場」を保障することをどのように継続できるか、臨床美術のミッションと捉え、試行錯誤していくことが、今、私達に出来ることではないかと考えています。



## 臨床美術士を訪ねて

今回は、オンラインシンポジウムでコロナ禍での臨床美術の取り組みについて発表されたお二人の活動をご紹介します。  
※本紙掲載用に発表内容を編集したものです。

### 画面で繋がる喜び 認知症クラスのオンライン講座



臨床美術士2級  
京都<臨床美術>を  
すすめるネットワーク 代表

フルイ ミエコさん  
(京都府)

京都府立医科大学神経内科で高齢者を対象にした臨床美術の講座を行っていましたが、コロナにより大学で開講できなくなりました。高齢者の孤立化が心配でZoom講座を思い立ち、やる気になって欲しいと、手作りマニュアル、画材などを送付しました。Zoomの接続練習を個別に重ね、4～10月に月2回の60分講座を、認知症の方を含む8名の参加者、5～6名の臨床美術士と9回行いました。画面で手元が見えないので時々絵を見せてもらいます。鑑賞会では一人ずつ大きく写し、皆で発言します。終了時には記念撮影し、一人ずつ送り出しました。後で録画を見て改めて皆さんの笑顔に驚きました。制作は慣れていたので、それぞれ自分の世界で楽しめたようです。「Zoomやってるの?」と親戚に感心もされ、気分も上がったようです。また、毎週15分程度でZoomの接続練習をしながら健康状態を見守る「お元気ですか? 交流会」も実施しました。現在は対面の講座に戻りましたが、途中コロナで中断したという感覚はなく「皆さんとも画面を通して繋がっているという喜びも感じています」と参加者から嬉しい感想もいただきました。オンライン空間だからできることがあります。良いところを生かして新しい臨床美術を作り出していけると良いですね。オープンな研究交流の場も期待しています。



### アンダーコロナにおける 対面セッション



臨床美術士3級  
医療法人社団翔洋会 理事

辻 美帆さん  
(東京都)

コロナ禍となり、対面セッションの休止を余儀なくされている御施設も多いかと拝察します。私共の介護老人保健施設でも昨年は3～5月は休止、6月に再開、12月初旬まで実施しておりました。再開は外出自粛長期化による高齢者の健康二次被害(サルコペニア・MCI化)が明確なエビデンスとして見えてきたためです。その際、以下の対策を取りました。

出勤前の検温・手指消毒・手洗い・マスク・フェイスシールド着用(臨床美術士)。握手/歌なし。参考、資料は回さない。距離を取り個別時対面にならない(同方向を向いて話す)。利用者は対角線やコの字型に座りアクリル板を設置。個人画材使用で共有物0化。色鉛筆が困難な方はダーマトグラフ。端材の提供は大トレーを使わず小トレーで個別に、残りは触っているため処分。台紙は一色に限定。使い捨てエプロンとアームカバー。患直なまでに消毒の徹底。消毒液の噴霧は点になるため、その後必ず拭き取り、小皿は裏も。モチーフは一人一つ用意、使用前消毒、拭き取り、試食なし。中身の色は臨床美術士が見せて回る。対策は以上です。

昨年12月、当法人老健施設で利用者が感染源となりクラスター発生(2名御逝去)。現在臨床美術も休止中。対面でのリスクは0にできません。高齢者の命を守るためにも、リモートセッションの可能性に期待したいです。





## 新発売!! 「ひらめきアート めり絵マルシェ」



「ひらめきアート めり絵マルシェ」は、創造力を働かせることで、個性的な世界を生み出すことができる新しいタイプのめり絵です。自分の中にあるひらめきやアイデアを引き出し、単に塗るだけでなく画面に触発されながら楽しむことができるので、脳の活性化やストレスケアなどにも役立ちます。

大宮市医師会市民病院でスタートした臨床美術の草創期において、参加者が自宅でも簡単に楽しめるアートワークが提供されていました。そのアートワークをベースに、子どもから高齢者まで、幅広い世代の方により取り組みやすく開発されためり絵です。

対面での臨床美術セッションが困難な時ですが、オンラインで参加者と描いてみたり、リアルセッションでも、短時間で手軽に楽しむことができます。

### 「ひらめきアート めり絵マルシェ Vol.1」商品情報

【発売日】3月16日(火)

【内容】めり絵4種

(「木の枝ステンドグラス」「成長する植物」「色いろパズル」「噴水のある公園」)

【サイズ】A4

【価格】受講生価格：770円(税込)／一般価格：880円(税込)

※1冊から購入可／10冊以上で送料無料(9冊までは送料220円)

### 《ご注文・お問合せ》

芸術造形研究所 画材部

E-mail : e-gazai@zoukei.co.jp

TEL : 03-5282-0210

FAX : 03-5282-7307

## 「臨床美術士ステーション」のご案内

### 臨床美術士として活動の場を広げませんか

コロナ禍で臨床美術の活動も制限され、現場が減ってしまった、再開の目途がなかなか立たない、新たな現場の開拓をしたいけどどうしたら良いのだろう…とお悩みの方も多いのではないかと思います。そこで自身をアピールする場として「臨床美術士ステーション」に登録してみませんか。

「臨床美術士ステーション」は芸術造形研究所と日本臨床美術協会が共同で立ち上げた、外部に向けて臨床美術士を紹

介するサイトです。自分で営業活動するのは苦手という方もこのサイトに登録しておくことで、仕事の問い合わせがくる可能性があります。また多くの臨床美術士にご登録いただくことで、臨床美術の普及や臨床美術士の周知を促すきっかけになります。営業ツールの一つとして「臨床美術士ステーション」を活用してみませんか。皆さまのご登録をお待ちしています。

登録方法は以下のアドレスをご参照ください。

<http://www.arttherapy.gr.jp/member/station/contact-station/>

登録申請について不明な点は協会事務局までお問い合わせください。



※「臨床美術士ステーション」への登録は4級以上の資格が必要となります。

### 表紙掲載

### アートプログラム紹介

この春、新たにBESTシリーズに加わったプログラムの中から一押しのアートプログラムをご紹介します。



完成品サイズ：約20×55cm

BESTシリーズ 最新アートプログラム【E-30】

### 「魚の金彩屏風」

自分だけの魚を金色の画用紙に描くことで、煌びやかな「和」の雰囲気を楽しめるプログラムです。魚の形の上に、様々な素材をスタンプのように使うことで、複雑な表情が生まれます。作品の裏には針金が仕込んであり、魚が泳ぐように作品をうねらせることで、躍動感が出るとともに、屏風として立てて飾ることもできるようになります。

※アートプログラム販売中

# 協会からのお知らせ

## 2021年度 オンライン定期総会のお知らせ

2021年度オンライン定期総会を開催いたします。

- 日時：2021年5月30日(日)15:45～17:00
- 議案：(1) 2020年度事業報告と収支計算について  
(2) 2021年度事業計画と予算について  
(3) その他
- 参加申し込み方法：同封しております「定期総会出欠はがき」に出欠を明記し、ご署名ご捺印の上、5月9日(日)までにご返送をお願いいたします。尚、個人情報保護のため同封の保護シールを貼ってご返送ください。また、欠席の場合は、委任状の提出をお願いいたします。委任状を提出すると出席者と同様に資格更新制度の単位取得対象となり取得単位数は5単位となります。

## 2021年度 会員証について

2021年3月1日(月)までに年会費をお支払い頂いた方に、2021年度会員証を同封しております。

尚、コンビニエンスストア専用支払伝票にてお支払いされた場合、入金の確認までお時間がかかる場合がございますので、確認出来次第、会員証を送付させていただきます。

※会員証の有効期限は、2021年4月1日～2022年3月31日です。

### 《会員証の確認と取扱いについて》

ご自身の会員証の記載内容(お名前・認定級・会員番号・次回資格更新日)について、相違がないかご確認ください。

「会員証」はストラップケースに入れ、臨床美術を実施される際、交流会・研修会等に参加する際には、認定バッジと共に必ず着用してください。紛失等による会員証の再発行には手数料500円(税別)と、別途送料がかかります。

## 資格更新期間延長について

JCAA(News59号)、メールマガジン、ホームページ等でご案内させて頂いた通り、コロナ禍において活動が制限される状況を考慮し、資格更新申請期限を1年間延長することといたします。2021年度会員証に新たな資格更新日が記載されておりますので、ご確認の程お願いいたします。

## 2021年度年会費のお支払いがお済みでない方

年会費のお支払いがお済みでない方は右記までお早めにお振り込みください。年会費が未納の場合、臨床美術士の名称を名乗れなくなり、協会会員の特典が受けられなくなります。

**2021年度年会費 11,000円(税込)**

特定の「振り込み用紙」はございませんので、ATMもしくは金融機関窓口にてお支払ください。

- 郵便局からの場合  
郵便振替口座 00150-4-740354
- 他金融機関からの場合  
ゆうちょ銀行  
〇一九(ゼロイチキュー)店(019)  
当座 0740354  
特定非営利活動法人 日本臨床美術協会  
\* 通信欄に「氏名」「会員番号」をご記入ください。

## 2021年度講座等について

協会主催の講座につきましては、メールマガジン、ホームページ等でご確認ください。



## 指定校からのお知らせ

### ひろしま美術研究所 臨床美術士養成講座

#### 5級取得コース

2021年

5月期	5/2(日) 5/3(月) 5/4(火) 5/16(日) 5/30(日)	申込締切日:4/16(金)
7月期	7/22(木) 7/23(金) 8/8(日) 8/9(月) 8/22(日)	申込締切日:7/7(水)
10月期	10/10(日) 10/24(日) 10/31(日) 11/14(日) 11/28(日)	申込締切日:9/24(金)

<申込窓口>

ひろしま美術研究所 TEL: 082-506-3060

※その他の指定校のスケジュールにつきましては、各指定校まで直接お問い合わせください。

※研修会情報は、別紙の年間スケジュール一覧をご参照ください。

## 芸術造形研究所からのお知らせ

### 臨床美術士養成講座

通学	5級 4月期	水曜日クラス or 土曜日クラス	全6回	会場：東京	締切 3/31(水)	
	5級 7月期	水曜日クラス or 土曜日クラス	全6回			締切 6/17(木)
	5級 短期集中	夏季特別クラス	全5回			締切 7/20(火)
	5級 10月期	水曜日クラス or 土曜日クラス	全6回			締切 9/29(水)
	5級 短期集中	冬季特別クラス	全5回			締切 11/11(木)
通学	4級 4月期	水曜日クラス or 土曜日クラス	全9回	会場：東京	締切 3/24(水)	
	4級 7月期	水曜日クラス or 土曜日クラス	全9回		締切 6/30(水)	
	4級 短期集中	秋季特別クラス	全7回		締切 9/2(木)	
	4級 10月期	水曜日クラス or 土曜日クラス	全9回		締切 9/22(水)	
通学	3級 4月期	土曜日クラス	約10ヶ月	会場：東京	進級審査締切 3/27(土)	
	3級 10月期	金曜日クラス	約10ヶ月		進級審査締切 10/8(金)	
通信	5級 4月期	4/3(土) スクーリング	1日間+5ヶ月	会場：東京	締切 3/11(木)	
	5級 6月期	6/5(土) スクーリング	1日間+5ヶ月		締切 5/13(木)	
	5級 7月期	7/3(土) スクーリング	1日間+5ヶ月		締切 6/10(木)	
	5級 9月期	9/11(土) スクーリング	1日間+5ヶ月		締切 8/19(木)	
	5級 10月期	10/2(土) スクーリング	1日間+5ヶ月		締切 9/9(木)	
	5級 12月期	12/4(土) スクーリング	1日間+5ヶ月		締切 11/11(木)	
通信	4級 5月期	5/8(土)・9(日) スクーリング	2日間+6ヶ月	会場：東京	締切 4/15(木)	
	4級 8月期	8/21(土)・22(日) スクーリング	2日間+6ヶ月		締切 7/29(木)	
	4級 11月期	11/6(土)・7(日) スクーリング	2日間+6ヶ月		締切 10/14(木)	
オンライン	5級 4月期	土曜日クラス	全6回	Zoom開催	締切 3/11(木)	
	5級 5月期	金曜日クラス	全6回		締切 4/22(木)	
		日曜日クラス				
	5級 8月期	金曜日クラス	全6回		締切 7/29(木)	
		日曜日クラス				
	5級 11月期	金曜日クラス	全6回		締切 10/14(水)	
		日曜日クラス				
	4級 5月期	火曜日クラス	全9回		締切 4/20(火)	
土曜日クラス						
4級 8月期	火曜日クラス	全9回	締切 8/3(火)			
	土曜日クラス					
4級 12月期	火曜日クラス	全9回	締切 11/16(火)			
	土曜日クラス					

※東京校では上記講座の他、感性アートゼミ(通学or通信制)など各種講座、研修会も開講します。

詳しくは芸術造形研究所のホームページでご確認いただくか、担当までお問い合わせください。

申込窓口

芸術造形研究所

TEL: 03-5282-0210

E-mail: school@zoukei.co.jp



特定非営利活動法人

日本臨床美術協会

[事務局]

〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂1-9-3 ShonanEminence 3階  
TEL 050-6865-3701 FAX. 050-3737-9007

E-mail: association@arttherapy.gr.jp <http://www.arttherapy.gr.jp>

臨床美術JCAA ニュース 第60号 2021年3月25日発行

発行/特定非営利活動法人 日本臨床美術協会

本誌掲載の記事・写真・イラストの無断転載および複写を禁じます。